

佐藤 高則 (tsatoh@tokushima-u.ac.jp, 研究室 HP <https://satokichi2012jp.wixsite.com/biochem/>)

1) 教員の研究の内容と学生の卒業研究の内容

紙面の都合上、項目だけ書きますので、さらに具体的な内容は教員まで聞きに来てください。または、研究室 HP (<http://www.geocities.jp/satokichi2004jp/>) に詳しく載せています(「徳島大学 生物化学」で検索)。専門分野は、生物化学、タンパク質科学、タンパク質工学、環境微生物学です。下記の研究を通して、遺伝子組み換え実験(遺伝子工学やタンパク質工学)、生化学的手法(クロマト、電気泳動、各種定量法など)、生体高分子の機器分析(HPLC や分光学的手法)などができるようになります。

「特殊環境に生育する微生物由来タンパク質・酵素・ペプチドの構造-機能相関と有効利用に関する研究」

1. タンパク質の構造-機能相関の研究
2. タンパク質の人工改変と安定化手法の応用
3. 細菌改変と細菌の環境適応関連タンパク質の探索
4. バイオリソースを利用した好熱性細菌由来耐熱性酵素遺伝子ライブラリーの構築
5. 蛍光スペクトルを用いたタンパク質の構造変化や凝集状態の解析法
6. 鉱山跡採掘滓からの重金属耐性細菌の探索
7. Compost からの好熱菌探索とその機能
8. モンゴル国家畜乳・乳製品の微生物とペプチド・タンパク質の特性と機能
9. 石灰鉱山土壌由来微生物の炭酸カルシウム耐性と生成
10. 地域の発酵製品中の微生物相の解析
11. その他、地域連携、産官学や国際共同研究、高大連携、生物教育活動

(卒業研究指導の方針)

基本的に学生との話し合いで進めていきます。卒研テーマは各自の興味を優先します。研究に関しては、実験指導、分析手法、必要な勉強、議論等について時間の許す限り直接教員が指導するようにしています。就職活動やアルバイトに関しては特に制約はしませんが、研究との兼ね合いで各自計画を立ててやっています。特に、就職活動等進路にかかわる時期には、各自進路が決定するまでは研究負担をさせないようにしています。また、ゼミでは、雑誌会、研究会、外書購読、学会発表などを通して、生物化学の勉強とプレゼン能力・討論力の向上を目標に行っています。研究室内では各人の個性・人格を尊重し、上下関係なしで何でも言い合える自由な雰囲気を目指しています。実際様子は、研究室の先輩(修士1名、学部4年3名が所属)にいろいろ聞いてみてください。

2) 就職・進学指導方針および卒業生の進路

まず、3年次に進路調査をした上で進めていきます。就職希望、教員・公務員希望、大学院希望では各々試験などの時期が異なります。その時期を見据えた上で逆算し、その時々で何をしなければならないのかを指導・助言します。研究室内では、机、ロッカーなどは各人に割り当てています。情報収集や文献検索などパソコンを使う機会が多いと思いますが、研究室のパソコンは良識の範囲内で自由に使用してかまいません。将来を見据えて自助努力することが大切ですので、早めにかつ積極的に進路の準備をするよう心がけてください。もちろん進路に関する助言・指導は随時行います。また、皆さんは永久に学生でいるわけではありませんので、社会に適応できる準備を残りの学生生活で行ってください。学生のうちに勉強以外にもいろいろな経験や知識を得て、社会に出た時に役に立てて社会に貢献できる人間になって欲しいと思います。大学院進学する人も、その後の進路を意識させるように指導しています。卒業後もいろいろと相談にのります。また、研究室イベントや学会などの機会を利用して徳大や前の大学のOB・OGとの交流会を行い、人のつながりを作ってもらようよう配慮しています。

【当研究室の主な進路・修士も含む】 医薬品(ファイザー、大塚製薬、バイエル、和光純薬工業、長生堂製薬、新日配薬品、ピュア、東洋ビューティー)、金融・証券(三井住友銀行、大和証券、阿波銀行、JAバンク徳島、全農徳島、日本郵便、香川県信用保証協会、徳島県信用保証協会、徳島県国民健康保険団体連合会、徳島信用金庫)、教員(大阪府(小学校、高校)、香川県(中学校、高校)、徳島県(高校))、公務員(阿南市消防)、受託臨床試験機関(シミック、EPメイト)、メーカー他(JR四国、大塚倉庫、三浦工業、戸田建設、静岡精機、高松帝酸、大器械、WDBエルレカ)、大学院・編入(徳島大(総科、医科学)、京大、阪大、筑波大、岡山大学、鳴門教育大、ハンガリー・ペーチ大)、その他(出雲市青年会議所)

【その他の内定先】 医薬品(大正製薬、久光製薬、サノフィ、大正富山製薬、CSLベーリング)、食品(市岡製菓)、金融・メーカー(日興コーディアル証券、アスティス、小松リフト、高松建設、鴻池組など)

3) 指導教員選択についての「教員からの要望」

他の人や教員に迷惑をかけない人を希望します。また、希望する人は必ず佐藤(高)まで話を聞きに来てください。学生の自主性を尊重しますが、学校に来ない、実験をしない・やる気がない学生はご遠慮ください。できれば、徳大大学院に進学し、積極的に研究を遂行する意欲のある方を希望します。